

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-2 消防防災対策の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

消防総務課長 角森 豪

電話番号

0852-22-5886

事務事業の名称	防災情報システム整備事業	
目的	(1) 対象	県民及び防災関係機関
	(2) 意図	的確な情報連絡体制の確立と防災情報の共有化を図れるようシステムを整備し、災害の未然防止や拡大防止を行う
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合防災情報システムの管理運営を行い、防災関係機関の情報の共有化を図ると共に、県民に対し各種情報の提供や災害対策時等の支援を行う</li> <li>県・市町村及び防災関係機関とを地上系回線と衛星系回線による二重化を図り、災害時における情報連絡体制を確立する</li> <li>震度情報システムの維持管理を行い、地震発生時における県及び市町村の初動体制の確立を計ると共に、県民に対し広く情報提供を行う</li> <li>ヘリコプターTV電送システムの維持管理を実施し、災害現場等の映像情報を収集・伝達して、災害規模の迅速な把握や的確な災害対策を実施する</li> <li>県・市町村及び防災関係機関を結ぶ防災行政無線施設について、良好な通信手段を常時確保するため、設備の維持管理や修繕等を行う</li> <li>老朽化した防災行政無線衛星設備の第二世代化整備や、端末系設備のデジタル化整備を行う</li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		300,000	310,000	320,000	
式・定義	年間の防災ポータルサイト閲覧アクセス数	実績値	294,917	305,397	422,363	324,145		件
		達成率		101.80	136.20	101.30		%
指標名	防災行政無線を利用した発信数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		330,000	340,000	350,000	360,000	回
式・定義	年間の防災行政無線を利用した発信数	実績値	318,064	311,271	303,067	207,530		
		達成率		94.30	89.10	59.30		%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	3,082,001	2,288,175
うち一般財源(千円)	148,286	152,519

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

- 防災行政無線の幹線系及び移動系設備について、平成26年度末で更新整備を完了した
- 防災行政無線の衛星系設備（県庁設備）について、平成26年度末より更新整備に着手した（平成27年度末に完了予定）
- 災害時等に現地より映像情報等を配信する衛星通信車について、平成26年度末に売買契約を締結した（平成27年度末に納品予定）
- その他各種無線設備や総合防災情報システムについて、適切な維持管理を実施し運営している

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 防災行政無線の幹線系及び移動系設備の更新整備を完了したことで、設備の信頼性が大きく向上し、また次世代通信方式への対応も可能となった
- 防災ポータルサイトへの閲覧アクセスはその年の天候や台風の接近、あるいは災害の有無等により大きく左右されるが、「しまね防災メール」の登録件数が順調に増えていることなどから、県民へも周知され各種情報の提供等に大きく貢献している

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- 県庁以外の衛星系及び端末系通信設備について、故障の発生が増えてきており信頼性が低下しつつある

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 設備設置後15年以上経過し、設備の老朽化が進んだことや補修部品の製造中止等で修理が難しくなっている

### ③原因を解消するための「課題」

- 設備の更新整備に係る予算（財源）の確保
- 更新費用が多いため、補助金や有利な起債等の存在が不可欠

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 平成27年度において、県庁以外の衛星系及び端末系通信設備について、更新整備に係る請負工事の発注を行う（平成29年度末に完成予定）

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）